



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2019年4月3日

報道関係各位

10年 100団体突破!

北海道の水辺の環境保全を「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインが応援

「北海道 e-水（イーミズ）プロジェクト」

2019年 支援団体決定&キックオフミーティング開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行）は、2019年4月12日（金）、本年度の支援団体として採択された10団体が活動内容について発表し情報共有するための「2019年北海道 e-水プロジェクト キックオフミーティング」を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

「北海道 e-水プロジェクト」は、北海道、（公財）北海道環境財団、当社の三者協働で取り組むプロジェクトで、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継いでいくことを目的としております。

また、今年で記念すべき10年目を迎え、本年の支援団体を含めると、これまでの支援団体数は延べ101団体となります。



北海道e-水プロジェクト

本年の活動開始となる「キックオフミーティング」は、プロジェクト10年目を記念して初の一般公開で行い、e-水プロジェクトを振り返るビデオ上映や今回採択された団体からの活動内容の発表を予定しています。

更に、ご来場の方には「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン＆「い・ろ・は・す天然水」（555mlPET）をプレゼントとしてご用意しております。

■2019年 北海道 e-水プロジェクト キックオフミーティングについて

日時：平成31年4月12日（金）14:00~17:30（途中入退場自由）

場所：赤れんが庁舎2階1号会議室（札幌市中央区北3条西6丁目）

申込：事前申込必要

（公財）北海道環境財団「北海道 e-水プロジェクト事務局」

電話：011-218-7811 FAX：011-218-7812

E-mail：emizu@heco-spc.or.jp

※お名前、ご所属、ご連絡先を明記の上、お申し込みください。



北海道の環境を守る あなたの1本

「北海道 e-水プロジェクト」を通じた「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインによる、北海道の水辺の環境保全に向けた寄付は、2018年までの11年間で117,551,372円となり、道内のべ91団体を支援、活動の輪は北海道一円に拡大しています。

※北海道 e-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額（2008年~2018年）

■2019年 支援団体（五十音順、敬称略）

	団体名/事業名	活動地域	事業概要
①	阿寒湖のマリモ保全推進委員会	阿寒湖	阿寒湖チュウレイ湾の100地点に登る調査地点にあるマリモをすべて引き上げ、大きさ・重量などを計測する。 そのためのボランティア募集や活動にかかる備品等も申請。
	阿寒湖チュウレイ湾でのマリモ総個体数一斉調査プロジェクト		
②	網走川流域の会	網走川流域	マイクロプラスチック問題の普及啓発、網走川流域（網走市、津別町、美幌町、大空町）での調査、漂着物展示を通じた啓発、流域一斉のごみ拾い
	小さなごみも見逃さない！マイクロプラスチックを探せ！！		
③	石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク	石狩川中下流域 (空知・石狩)	1) 未保全湿地の継続調査とリスト化、探索会の開催、2) 普及啓蒙のための映像・資料作り、3) 湿原植物利活用WSの開催、4) 湿地カフェ開催 ※「篠路福移湿地」「美唄湿原」の保全を進めるため2)を最優先で実施
	石狩川流域湿地環境啓発事業		
④	大沼ラムサール協議会	大沼	流入河川を含めた湖水調査と外来種の調査を通じて大沼の現状の把握を行う。また、大沼地域の将来ビジョンを話し合う場を設定し、ワークショップにより議論を行う。大沼研究発表会で成果を発表する（期間外）。
	Wise useを意識した地域づくりProject		
⑤	釧路自然保護協会	釧路市春採湖岸北東部	ヒナの産卵水草保護を目的に、ウチダザリガニ侵入防護壁の有無や駆除強度の強弱によって、個体数がどのように変化するか調査を行う。実験区内でウチダザリガニを絶滅できれば、水草の回復が期待できる。
	ヒナ産卵地保護を目的とした、効果的なウチダザリガニ駆除方法の開発		
⑥	一般社団法人ちせ	石狩市（石狩湾海岸地域）、札幌市内	沿岸の自然整形保全の理解と海洋マイクロプラスチック問題を念頭に海洋漂着物の調査を行う。また、啓発のための海洋漂着物トランクキットの作成や啓発パンフレットの作成なども行う。
	沿岸漂着物に関する住民参加型調査と漂着物トランクキット開発		
⑦	道東のイトウを守る会	釧路川流域	釧路川水系における遡上障害の落差工（No.7）に手作り魚道を設置し、イトウ個体群の復元を図る
	手作り魚道による釧路湿原のイトウ個体群の復元2019		
⑧	NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト	余市郡余市町	環境負荷の少ない汚水浄化システムを目指し、植物浄化水路を制作する。特に窒素・リンを除去する。環境教育の場としても活用しワークショップで行う。
	環境共生型汚水処理システムの実践研究と普及活動		
⑨	北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローバルアクションプロジェクト	常呂川水系流域 (北見市)	高校生が小学生を対象にウチダザリガニの防除活動と調理を行う。また、常呂川でごみの収集を行い、発生抑制に向けたパンフレット等を作成し、啓発を行う。
	常呂川水系を大切にプロジェクト — おいしい保全 ザリガニウォッチング in 仁頃川 —		
⑩	ヤツメウナギ研究会	枝幸町歌登地区市街地 2級河川北見幌別川と2級河川ベンクナイ川及びその支流を含む流域	歌登の川をフィールドに希少種となったカワヤツメの捕獲・受精、放流を行う。同時に外来種調査も行う。子どもたちを対象に「川の生きもの」「水辺の鳥」の観察会を行う。その他、河川の清掃活動や講演会なども行う。
	北見幌別川水系及びその流域における河川資源の保護・増殖事業及び環境保全に関する啓蒙活動（Reborn THE ヤツメ）		

- 対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。
 <例> 水質浄化、水辺の清掃活動、環境学習会や研修会、水源の森づくり、在来種の回復や外来種駆除など
- 対象となる期間：2019年4月1日～2019年11月30日に実施される事業



（昨年度の採択団体活動風景）

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーポリング株式会社 広報・CSR推進部
 担当：千葉 TEL 011-888-2091

■ 参考 1 活動の源である「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン

- 「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインは 1993 年に発売して以来 25 年以上、北海道の多くのお客様に親しまれているコーヒーのロングセラー商品です。原材料には、北海道産の乳・砂糖を使用し、北海道の地産地消を応援しております。
- パッケージデザインは、北海道の代表的な自然風景を採用し、ご愛飲いただいている皆様から北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりするというかたちで、売上の一部を公益財団法人北海道環境財団へ寄付し、それを活用して北海道との連携のもと道内各地域の水辺の環境保全に取り組む団体と協働し、水辺の観察会や清掃活動などに取り組んでいます。
- 2008 年より開始された寄付は 2016 年に累計 1 億円を突破しました。

■ 参考 2 北海道 e-水（イーミズ）プロジェクトとは

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道 e-水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道 e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。
- 2010 年から始まったこの「北海道 e-水プロジェクト」はこれまで本年度採択団体を含めると 10 年間で延べ 101 の団体を支援（※別図参照）活動の輪は全道一円に広がっています。

■ 参考 3 累計寄付金額

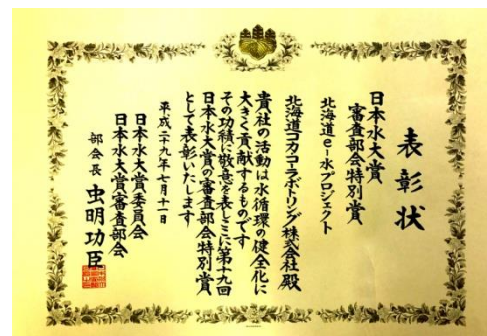
2008～2017 年 寄付額実績	109,977,354 円
2018 年 寄付額	7,574,018 円
寄付額累計	117,551,372 円 内) 北海道 e-水プロジェクト 93,173,177 円

■ 参考 4 「第 19 回 日本水大賞」において審査部会特別賞を受賞 ※2017 年 7 月 11 日（火）授賞式

- 日本水大賞委員会（名誉総裁:秋篠宮殿下、委員長:毛利 衛(日本科学未来館館長)）、国土交通省が主催
- 1998 年 6 月、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本を目指して、水循環の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し、活動を支援するために創設
- 国内で水環境における全ての団体、個人の研究活動を対象にした唯一の賞



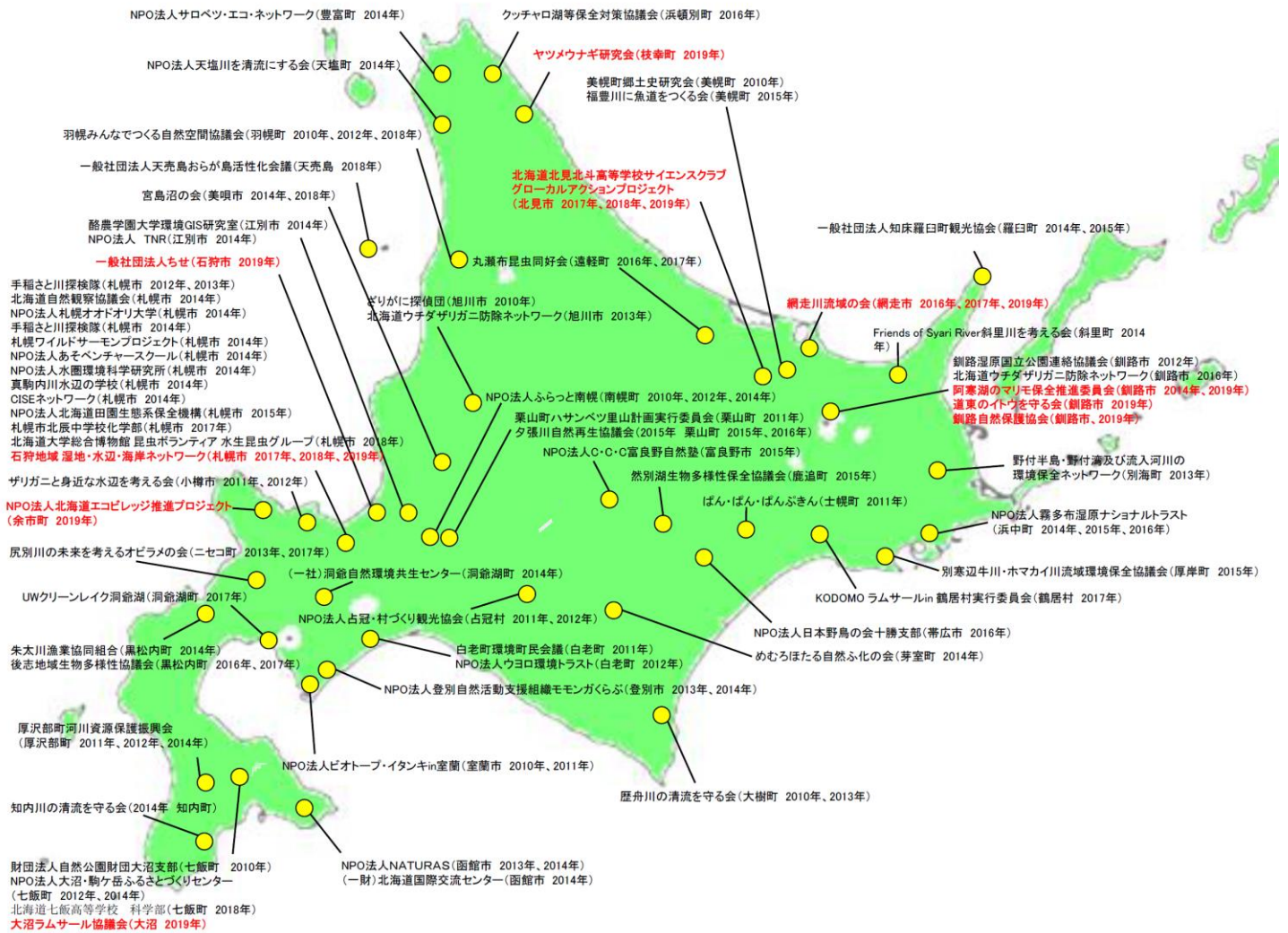
第 19 回 日本水大賞授賞式



日本水大賞 審査部会特別賞

■ 参考5 北海道e-水（イーミズ）プロジェクト、歴代活動団体一覧

【北海道e-水プロジェクト歴代活動団体一覧】



(延べ 101 団体、赤字は 2019 年度採択団体)